ボーリング柱状図

調　査　名	国道182号　道路災害防除事業（法面対策）に伴う業務委託
事業・工事名	

ボーリングNo.	5	1	3	3	7	2	2	5	0	0	7

シートNo.　7

ボーリング名	A147B2	調査位置	広島県福山市加茂町外	北緯	34° 36' 20.5000″
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	平成29年 2月13日～平成29年 2月16日	東経	133° 19' 23.7000″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	TP 355.02m	角度	180° 上 下 0° 90° 30°	方向	118°北 0° 270° 90° 西 東 180° 南
地盤勾配	60° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦製D-0型	ハンマー落下用具 その他
総掘進長	10.00m		エンジン	ヤンマーNF80型	ポンプ 東邦製BG-3型

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	打撃回数／貫入量 回/cm	N値	原位置試験	室内試験	掘進状況 掘進月日	掘進速度 cm/時	孔径／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l/分	排水量 l/分
1 2	352.86	2.50		強風化輝緑岩	淡緑茶	D	V	d	ε	3	吹付け：5cm 外周残すが全体的に土砂～礫状コア主体。 部分的に粘板岩質の岩片混入し、亀裂沿いに流入粘土あり	D							2/13	45	90／ケーシング	W／D	15	180	0	清水／3	2
3 4 5 6 7	348.70	7.30		風化粘板岩	黒褐	C	IV	c	γ	2	コア肌比較的新鮮であるが、亀裂・線状脈の発達により角礫状となす部分が多い。 亀裂沿いは、褐色に変色し、流入粘土を含む。 所々に輝緑岩を含むが脆い。 亀裂角度は、30～40度主体。 線状脈は、70～80度主体。	CL							2/14	45	66／泥水	W／D	20	180	0	清水／3	2
8	347.57	8.60		強風化輝緑岩粘板岩互層	淡白灰	D	IV	c	δ	3	全体的に破砕質となっている。 白色もしくは赤褐色に変色している。 GL-7.3～7.4m：白色を呈するの粘土化	D							2/15	45			5	150	0	清水／3	2
9 10	346.36	10.00		粘板岩	黒褐	C	III	b	β	1	比較的新鮮で硬質である。 亀裂が発達しているが、亀裂面は比較的新鮮。。 GL-9.2～9.5m区間：輝緑岩に漸移する。漸移角は40度	CL							2/16	50			10	180	0	清水／3	2
11 12 13 14 15																											

コア採取率 ×（%）　最大コア長 ●cm　RQD ［%］

標尺 m	コア採取率	最大コア長	RQD
1	0[0](100)	0[0](100)	4[0](100)
3	7[0](100)	10[10](100)	7[0](100)
7	4[0](100)	9[0](100)	12[24](100)
9	15[50](100)		